みなとユネスコ会報 Bulletin
MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR
ISSUED BY／MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004／HIROSHI NAGANO PRES.
発行所／港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel：03-3434-2300 Fax：03-3434-2233 発行人／田部換一郎
Mail：m-info@minatounesco.jp https://minato-unesco.jp

2023 年 6 月 1 日発行　第 172 号

目　次

P. 1　巻頭言	P. 7　2023 年度 港ユネスコ協会 役員
P. 2　凧づくりと凧揚げ/巻頭言続き	P. 8　松本洋さんを偲んで
P. 3　ミンダナオ子ども図書館への寄贈	P. 9　盆栽（黒松）
P. 4　2022 年度 都ユ連研修会	P. 10　盆栽（旭山桜）
P. 5　世界の味文化紹介「薬膳料理教室」	P. 11　定例事業紹介
P. 6　2023 年 4 月総会	P. 12　事務局便り

新渡戸稲造著「教育の目的」について

東京海洋大学教授（港ユネスコ協会理事）佐々木 剛

新渡戸稲造の名言といえば「我太平洋の橋とならん」である。多くのユネスコ協会員はご存知のことと思う。名著「武士道」を著し多くの国々に日本の文化を紹介した文化人、国際人として、また国際連盟事務局次長としても活躍し、今日のユネスコの前身である知的協力国際委員会(International Committee on Intellectual Cooperation、 ICIC)の創設にも関わった。

同時に研究者としても著名であり、農政学を学びその学問を台湾での農政改革に応用し、経済的な豊かさを高めることに成功した。そして現在の東大教養部である「第一高等学校」の校長や東京女子大学の初代学長などを歴任し、数多くの教え子を輩出した教育者でもある。

様々な著作がある中で、特に「教育」に関する言説は大変興味深い。なかでも「教育の目的」は、第一高校校長時代に学生に対して教養を身につけてほしいとの願いを込めて書き記したものである。新渡戸は教育の目的を次のように 5 つに分類した。

第一の目的：職業のために教育をする
第二の目的：道楽のために教育をする
第三の目的：装飾のために教育をする
第四の目的：真理の研究のために教育する
第五の目的：人格を高尚にするために教育する

これらの中でも、5 番目の項目「人格を高尚にするために教育する」について紹介したい。パーソナリティ（人格）は、「超越的なパーソン」と自分自身とを対象化することによって、自ら判断

（P. 2 へ続く）

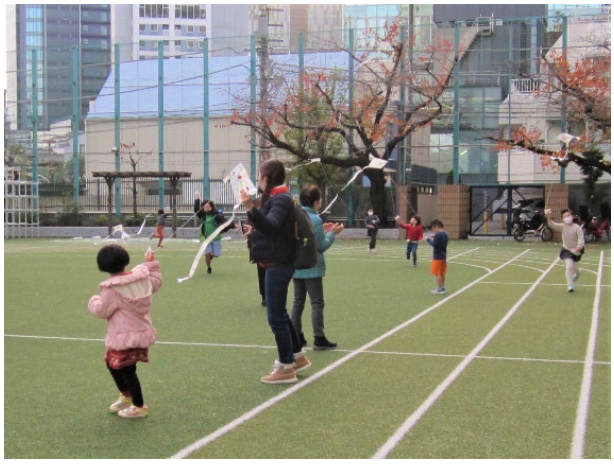
文化体験委員会

「凧づくりと凧揚げ」

日　時　2022 年 12 月 3 日（土）、13 時 30 分～16 時 00 分
会　場　港区立青山小学校（プレイルーム・運動場）
講　師　福岡正巳（タコの博物館・日本の凧の会事務局長）
参加費　500 円、参加者　42 名（定員 30 名）

内容：

①凧の歴史説明
②講師によるデモンストレーション
③和紙に好きな絵を描く
④竹の骨組みに和紙をのり付け
⑤自作の凧をあげる



ひとこと：

定員 30 名のところ、当日の参加者や付き添いの方々で 42 名となりました。作った凧は、エイ凧です。参加者の最年少は 1 歳で、親子で共同作業の姿は微笑ましい限りでした。和紙に好きな絵を描く時、講師から「凧に男の子の名前を書き、凧をあげた。名をあげるにちなんでいる。」と説明を聞いて、早速ご子息の名前を書かれている方もいらっしゃいました。晴天に恵まれ、人工芝の運動場で凧揚げを楽しみました。講師の福岡先生は、全国各地のイベントや学校でのご指導にとどまらず海外の大会でも凧揚げをされています。前年度に引き続き、丁寧なご指導に感謝申し上げます。

（理事　平方一代）

（P.1 新渡戸稲造著「教育の目的」について、から続く）

し、行動を起こす縦の関係を指す。その上で、横の関係すなわちソシアリティ（Sociality：社会性）、人と人との関係が必要であると説いた。

新渡戸の一高時代の教え子で、日本のユネスコ加盟を最初に導いた前田多門氏の回想録に次のような言葉がある。

新渡戸先生が当時一高校長としてのみならず、それこそ当代随一の社会教育家として、機会ある毎に強調されたのは、縦の関係の外に、横の関係を重視すべきこと、即ち、水平的に、各人が相寄り相携へて、善き社会を作らねばならぬ。日本人の教養として、今後涵養の急務なるを感ずるのは、社会性（ソシアリティ）であり、社会奉仕であるという点であった。

パーソナリティを重視した生き方が個人個人の生活の豊かさを高めると同時に、パーソナリティの状態をお互いが尊重し合う横の関係すなわちソシアリティの状態が保たれていることが、豊かな社会の構築につながる。

新渡戸の説くパーソナリティとソシアリティは、現在でも通じる考え方だ。世界中で困難な課題を抱えているが、これら横と縦の関係を日常生活の中で実践しながら多くの人々とともに well-being（心身ともに健康で充足した状態）の社会を目指していきたいと思う。

「ミンダナオ子ども図書館」への寄贈

月日：2022 年 11 月 24 日
担当：今村・磯部・奥村
（前年度までは渡部さんも参加）

ミンダナオ子ども図書館とは

ミンダナオ子ども図書館は、2002 年松居友氏がフィリピン・ミンダナオ島の中央に位置するキダパワン市の郊外のアポ山麓の農地に立ち上げられた現地法人である。主な活動は以下のとおり：
①読み聞かせ等の子ども図書館活動＆先住民族やイスラム教徒、難民の子供たちへの読み聞かせ
②奨学生支援　③医療支援　④保育所建設支援　⑤植林環境支援　など

これらの活動の中心となっているのは、奨学金を受けている学生たちや宗教・部族の違いをこえて青年や子供が共同生活をしながら学び、活動をしている。又、日本からの大勢の支援者の寄付によって成り立っている。

港ユネスコ協会とのご縁

2005 年 10 月の国際学術委員会の講演会で、松居友氏が「テロと戦闘の続くミンダナオでの医療、図書館活動」というテーマで講演された。初めて知ったミンダナオ山岳地帯の紛争状況、現地の悲惨な貧困状況を知り、早速支援活動を開始した。一部の会員は個人的に資金援助を続けたり、教育のサポートをしている。寄贈品は、会員が直接事務局に持参くださったり、また、お知り合いにもお声がけをして、その方が直接持参いただいたり、ダンボール箱で事務局に送って下さったり、中には寄付金も添えて下さる方もいる。区民祭りへの寄贈品の内、相応しい品も選択してする。

寄贈品は、靴、文房具、衣料品、日常品等を詰め合わせ船便にてミンダナオ島へ発送している。送料は、当初松居友氏をご紹介下さった永井美智子さんや高井元会長が寄付された。その後は、箱詰め担当の我々も寄付させて頂いた。本来はコーアクション活動の一環としての事業と考え、2022 年から自主財源に予算を計上して頂くことにした（寄付なので、補助金として認められていない）。ミンダナオ子ども図書館から寄贈品のお礼状が届くとひと安心である。

ミンダナオ子ども図書館の青年が港ユネスコ協会を訪問

余談として、2018 年 6 月に松居友氏とその夫人が奨学生とスタッフを同伴し来日された。急遽、港ユネスコ協会も歓迎させて頂いた。松居友氏の講演、青年たちが民族舞踊と歌を披露し、また「私の家族、将来の生き方」としてスピーチをされ、立派に成長された姿に感銘をうけた。紛争により、戦災孤児も多く現実の厳しさを知り、また映像で現地の現状も目の当たりにした。例えば、吹き飛んだ屋根をブルーシートで被う作業等現実の厳しさが伝わり、支援の必要性を改めて痛感した。

今後も支援活動は継続させていきたい。それには皆様の協力が必要である。

常夏なので、衣類は夏物をお願いしたい。また不要のカーテンもＯＫ（寝具代わりに使用されるとのこと）、裸足の子もいるので靴も歓迎とのことである。皆様の支援をお願いしたい。

（常任理事 奥村和子：一部内容は、高井光子氏の機関紙の記事を参照させて頂きました）

「２０２２年度 都ユ連研修会」

主催／東京都ユネスコ連盟協議会

日時：2023 年 2 月 23 日（木・祝）13：00～16：45
会場：阿佐谷地域区民センターにて

2023 年度の「関東ブロック大会」は、都ユ連が幹事となり 9/3 に青山学院大学にて開催されます。その開催に向けて 80 名の都ユ連のメンバーが参加し、関東の各県の会員が一同に揃うブロック大会に向けて「連携・仲間づくり ！」というテーマの元、熱気あふれる会が開催されました。

池田都ユ連会長の挨拶から始まり、青年活動報告、次世代ユネスコ国内委員会報告、2000 人プロジェクト・アクション進捗報告でこの一年の活動の総まとめ。

尼子美博氏の「日本ユネスコ協会連盟の最近の動きとブロック研究会に期待すること」基調講演。(右写真))

最後に「関東ブロック大会」に向けて「全体テーマや企画などについてどうするか」を各協会の枠を超えてのグループ討議に移りました。11 班に分かれて活発な意見が出され、それぞれ模造紙での発表。平和、戦争の無い世の中、教育の平等、貧困問題、被爆国からの視点、手を繋ぐ、笑顔等などこれからの秋に向けて準備を進める実務担当者にとっても方向付けとなる討論となりました。

特に次世代を担う「青年」の皆さんは、午前の青年研修会、青年活動報告、グループ討議のファシリテーター等で活躍されていたことをここにご報告いたします。

(MUA からの参加者／永野、田部、今村、新福、金城、梅根、佐藤、小林　以上８名)。

9 月 3 日の大会には港ユネスコ協会からより多くの皆様の参加をお待ちしています！！

(副会長 小林敬幸)

2022 年第二回 世界の味文化紹介

薬膳料理教室

講師:山口由美子氏

日時:2023 年 2 月 26 日（日）、12 時～15 時 30 分
会場:リーブラ料理教室
参加者：区民 17 名、会員 3 名、スタッフ 5 名

コロナの影響も緩和されたので、今回は定員を 16 名→20 名の参加者で実施した。
講師の山口氏は、福岡市在住で、薬膳料理教室「マンダリンキッチン」を主宰され、国際中医師、国際薬膳師、国際薬膳調理師等の資格を持つ優秀な方である。実習前に中国悠久の「陰陽五行学説」のお話しと共に、身近な食材による「薬食同源」に基づき寒さに対抗する養生と暖かい時期に向けての体の準備・体質改善・.美容に役立つ薬膳料理の講義をされた。冬は特に腎が喜ぶもので、色は黒（黒豆・黒胡麻・黒米・黒砂糖▸昆布等）味は鹹味（海の塩気の味でひじき・昆布・わかめ等）を補うとよい。

体を温める食材（温裏）は以下のとおり：
にんにく、ニラ、唐辛子、山椒、八角、丁子、肉桂、黒砂糖、金木犀、ます、鯵、鮭
体の表面の浅いところにいる邪気を出す食材（辛温解表類：冬＝早春）
白葱、生姜、大葉、香葉、茗荷、三つ葉、桂枝、防風

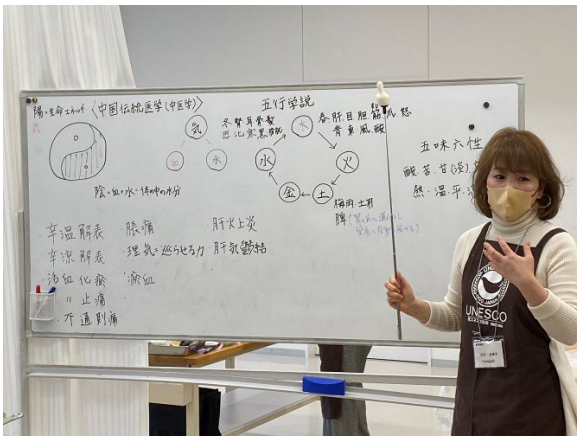
春の養生は、青い野菜や酸味のものを少し意識して取り入れていく事。血を増やし、巡りを良くしていくことが良い。中国の古典より引用し、春はお散歩などをして発散して過ごすと良いとのアドバイスも頂いた。

今回、冬から春に相応しい材料を取り入れて考慮された薬膳料理を、講師のデモンストレーションの後、参加者が実習し、和やかな雰囲気で会食された。

今回のメニュー：

1．黒豆御飯　コツコツと「腎」を補う
2．海老とニラのワンタン　春先の、駆け込み冬の養生　冷えの大元「腎」を温め肝を補う
3．鶏とごぼうのみぞれスープ　体を温め腸を整え、気力 UP
4．黒胡麻桂枝団子の大納言ぜんざい　補脾腎、気力 UP

だし汁、小豆・黒豆の下煮、練り胡麻、黒胡麻団子等について、講師があらかじめ準備されていたので、実習もスムーズに進行した。お料理は美味で、食後は身体がポカポカ温まったというご意見も多く、薬膳料理の神髄に触れた気がした。又季節を換えて参加者の健康に貢献したい。



（常任理事　奥村和子）

２０２３年４月総会

日時：2023 年 4 月 19 日（水）　17 時 00 分～18 時 15 分
場所：港区立生涯学習センター101 号室

港ユネスコ協会の 2023 年 4 月総会が 4 月 19 日（水）午後 5 時から、港区立生涯学習センターにおいて開催されました。

武井雅昭港区長

会員 24 名の参加のもと峰尾茂克副会長の司会で開会、田部揆一郎会長の開会の挨拶で始まりました。

そして、当協会顧問でもある武井雅昭港区長から、当協会が長年継続してきている国際親善、国際友好の活動が国際都市を目指している港区の目標と合致していること、また、特にウクライナからの避難民に対し、募金活動を行ったり、いろいろなイベントを通じた相互理解の場を提供していることについて紹介され、謝意を表されました。

最後に、国際都市として、誰もが自分らしく生き生きと、生涯を通じて自立した生活を送り、また広く世界に貢献できる、そういう街づくりに協力してほしいというメッセージをいただきました。

議事内容：第一号議案　2022 年度事業報告、新入会員紹介
第二号議案　2022 年度会議報告
第三号議案　2022 年度決算
第四号議案　2022 年度監査報告
第五号議案　2022 年度日ユ協連などへの協力報告
　　2023 年度日ユ協連などへの協力（案）
第六号議案　2023 年度事業計画（案）
第七号議案　2023 年度予算（案）
第八号議案　2023 年度港ユネスコ協会役員（案）

以上の議案が順次議事に付され、それぞれの議案について全会一致で承認されました。

２０２３年度　港ユネスコ協会役員

（五十音順）

［役 職］	［氏　　名］	［職　　名］
会　　長	田部揆一郎	元三菱油化（現三菱化学）取締役
副 会 長	磯部豊子	
〃	今村孝子	ラテンアメリカ国際交流協会会員
〃	小林敬幸	
〃	峰尾茂克	株式会社 THE FP コンサルティング代表取締役 一般社団法人 理想の住まいと資金計画支援機構 代表理事 日本 FP 協会 評議員
〃	森村俊介	森村商事株式会社　相談役
常任理事	秋山雅代	
〃	石井義明	元東京消防庁警防部長、元麻布消防署長
〃	奥村和子	
〃	笠原正子	裏千家茶道教室主管
〃	佐藤律子	
〃	田川純子	日本語教師
〃	古市容子	
〃	松崎加寿子	医師
〃	宮下ゆか里	
理　　事　◎	宇都宮和美	
〃	佐々木 剛	東京海洋大学教授（水圏環境教育学研究室）
〃	渋谷　恵	明治学院大学教授
〃	清水軍治	港区音楽連盟名誉会長、港区スポーツふれあい文化健康財団理事 港区童謡唱歌の会会長、港シティコーラス名誉顧問
〃	鈴木明美	
〃	坪谷郁子	株式会社東京インターナショナルスクールグループ 代表取締役 学校法人東京インターナショナルスクール 理事長
〃	東郷和彦	外務省条約局局長・欧亜局局長、オランダ駐箚特命全権大使等を歴任、静岡県立大学グローバル地域センター客員教授
〃	永井美智子	
〃	中前由紀	港区議会議員
〃	平方一代	元横浜市住宅政策審議会委員
〃	三輪恵美子	
〃	山田攝子	弁護士
〃　◎	横井 彩	元ユネスコ職員
監　　事	棚橋征一	日野・レッドランズ姉妹都市協会副会長
〃	中川統夫	株式会社チエモリコーポレーション 代表取締役、港志会元会長
名誉会長	三輪公忠	上智大学名誉教授
顧　　問	明石　康	国際連合事務次長や国際連合事務総長特別代表などを歴任 公益財団法人 国際文化会館名誉顧問
〃	伊藤公平	慶應義塾長
〃	高井光子	元港ユネスコ協会会長
〃	武井雅昭	港区長
〃	永野　博	前港ユネスコ協会会長、東京都ユネスコ連絡協議会副会長 研究・イノベーション学会元会長、米国科学振興協会フェロー
〃	見上陽一郎	学校法人 東京芸術学園 音響芸術専門学校 学校長・理事長
相 談 役	菊地賢介	前港ユネスコ協会副会長、ヒューズ合同会社社長、港志会元会長
〃	木曽　功	千葉科学大学学長、元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使

◎は新任。すべての役員・役職の任期は 2024 年 4 月総会まで。

（事務局 新福彰二）

松本洋さんを偲んで

30 年余りにわたり、副会長や理事として、お力を注いでくださっていた松本洋さんが 2022 年 3 月 21 日、91 歳で亡くなられました。

初めて会議にご出席下さった時のご様子は今も目に浮かびます。長身でスリムなお身体、渋いダブルの背広に蝶ネクタイ、手には山高帽子。まるで映画の中から現れた英国紳士の雰囲気でいらっしゃいました。が、話し始められると、殊のほか大きく、よく透るお声でした。「学生時代、応援団で声を鍛えたので」と照れておられました。30 年後も、このスタイルとお声は何らお変わりになりませんでした。

早稲田大学で建築学、その後英国のマンチェスター大学で都市建築を学ばれたご学歴を活かされて、途上国から求められる開発援助を推進するための日本政府の様々な組織で 50 年にわたってご活躍され、数多くの途上国の国造りや人づくりに貢献されてきました。

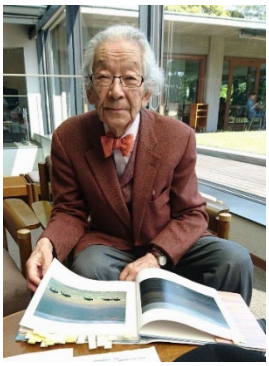
お父上の松本重治氏（戦後真っ先に、国際相互理解のための文化交流と知的交流の必要性を説かれ、国際文化会館の創設に関わられた方）が、1989 年に亡くなられたことで、ご長男の洋さんは、公益財団法人・国際文化会館の専務理事に就かれました。同時に、港ユネスコ協会にもご協力下さることになりました。以後、講演会、シンポジウム、ディプロマッツ・レクチャー（在日大使や大使館員に限定して、年 1 回開催する講演会）などの講師選び等は、お顔の広い松本さんのお力に頼らせていただきました。偏見のない深いお考え、温かいお心配り、素早い実行力など、お手本を身近で拝見できた私どもは幸せでございました。心から御礼申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたしております。

（港ユネスコ協会元会長・顧問　高井光子）

（和文会報 第 153 号の記事を追悼掲載）

松本 洋さんを囲んでのＭＵＡサロン

日時：2018 年 5 月 17 日（木）午後 6 時～
場所：港区立生涯学習センター内 MUA 事務局



港ユネスコ協会の国際・学術・文化など多方面の講演会・ディプロマッツ・レクチャーの企画は、相談役を務める松本洋さんの幅広いご人脈からの講師招聘を抜きにしては語れません。松本さんは、早稲田大学卒業後、英国のマンチェスター大学で都市計画を学び、日本道路公団、アジア開発銀行への出向。帰国後、国際開発センターで研究員、国際開発推進協会の常務・専務理事を歴任、政府の開発援助の推進に一役を担う。後「国際文化会館」へ。専務理事から今日「Inn Keeper」の要職で館を守られています。著書は「地球建築士：国際交流・協力の五十年」（柏艪舎）、「半地球 松本洋写真帖」（河出書房新社）。

60 か国にのぼる国々での人とのかかわり、そして「Public Mind（おおやけ《公》心）、Produce Mind（つくり《創》心） and Play Mind（あそび《遊》心」の 3 つの〝P“マインドで語って頂き、松本さんの原点はここにありが伝わってきた楽しい２時間でした。（上の写真は国際文化会館での事前打合せ）

今回は氏のヒューマンな視線から見た「新興国」をテーマとする写真集「半地球 松本洋写真帖」から 100 枚ほどをピックアップして頂いた。スクリーンに映し出される人物、自然、そして自然と人工物の対比など、一枚一枚の映像から「何を見たか、感じたか・・」の撮影時の感動が再現され、真に迫るお話を頂きました。

（常任理事 小林敬幸）

文化体験教室委員会

日本の伝統文化「盆栽」実演と体験

主催：港ユネスコ協会　共催：港区教育委員会

講　師：川上 佳樹氏（有限会社清香園）
日　時：2022 年 11 月 19 日（土）13：30～16：00
会　場：港区立生涯学習センター305 号室
参加費：3,500 円（会員 3,000 円）
参加者：31 名　その他 6 名（講師、アシスタント 2 名、委員 3 名）　合計 37 名
内区民 24 名、内外国籍 11 名（アメリカ、イギリス、ウクライナ、ギリシャ、シンガポール、ハンガリー、リトアニア）
題　材：黒松
内　容：

・盆栽の歴史・文化の説明
・講師によるデモンストレーション
・各自盆栽作り実習（小品盆栽）

参加者からの声：

・大変楽しかった
・先生の教え方がとてもわかりやすく、充実した時間を過ごせました。
・お正月が楽しみです。
・また参加したい。

ひとこと

今回も 70 名を超える応募者があり、抽選で 31 名を選ばせて頂きました。「一生に一度、盆栽にふれてほしい」という清香園さんの企業理念のもと、盆栽の普及活動に尽力されている清香園さんのご好意により、破格の値段で開催することができました。

盆栽は、長い歴史を持つ日本の伝統的な文化ですが、今や「BONSAI」となって世界中に人気が広まりました。盆栽を買い求める外国人が増えている様です。

講師への質問コーナーでは、肥料のやり方、盆栽の置き場所や水やりの質問がありました。「水やり三年」と言われるように水やりが、一番難しい様です。今回は松の根っこの周りに苔を貼りました。苔の乾き具合で水をあげると様にと教わりました。

皆さまの力作「松の盆栽」が新年を迎えるのに花を添える事でしょう。

（理事　平方一代）

文化体験教室委員会

日本の伝統文化「盆栽」実演と体験

主催：港ユネスコ協会　共催：港区教育委員会

講　師：倉成 裕也氏（有限会社清香園）
日　時：2023 年 3 月 11 日（土）13：30～16：00
会　場：港区立生涯学習センター101 号室
参加費：3,500 円（会員 3,000 円）
参加者：31 名　その他 7 名（講師、アシスタント 3 名、委員 3 名）　合計 38 名
内区民 25 名、内外国籍 8 名（アメリカ、駐日欧州連合代表部、ウクライナ、スリランカ、フィンランド）
題　材：旭山桜
内　容：

・盆栽の歴史・文化の説明
・講師によるデモンストレーション
・各自盆栽作り実習（小品盆栽）

参加者からの声：

・参加できてよかった
・桜の花が咲くのが楽しみ
・苔張りが難しかった
・また参加したい

ひとこと

桜の盆栽も応募者多数で、抽選に外れた方々にお断りするのが申し訳ない状態でした。

日本を象徴する花の一つが「桜」です。桜はその美しさだけでなく、春の訪れを象徴するものであり、日本人と馴染み深い花として親しまれています。

桜の花言葉は「精神美」で、桜が日本の国花という位置付けから日本国、そして日本人の品格を表すシンボルとして、美しさを託した言葉という推察があります。

桜は日本だけでなく、カナダやアメリカ、スウェーデンなど世界中で見ることができます。

日本のお花見は世界の中でも特別なものと言われます。今年もお花見を楽しむことを目的に、日本を訪れる人もいる事でしょう。参加者の皆様がご自宅で花見を楽しまれることを祈ります。

（理事　平方一代）

港ユネスコ協会の定例事業開講中

茶道入門講座

初めての方向けの茶道入門講座です。前期、後期に分け６回シリーズを１クールとして、毎月第４月曜日に開催しています。

講師：小野 宗恵先生（裏千家 専任講師）
日時：前期　2023 年４月 24 日(月)・５月 22 日(月)・６月 26 日(月)
　　後期　2023 年７月 24 日(月)・８月 28 日(月)・９月 25 日(月)
　　14 時～16 時 30 分　全６回
定員：６名
会場：港区立生涯学習センター2 階 203 号室

５月 22 日（月）第２回目のお稽古が終了しました。
現在の参加者は５名です。皆様、すでにご自身で色々なお茶の道具を購入され、ご自宅でも熱心に練習されているようです。

（常任理事　笠原正子）

ＴＯＥＩＣ対策講座

就職、転職に有利と言われている、そして多くの企業で昇格要件にも採用されている「ＴＯＥＩＣスコア７３０点突破」を目指す講座です。現在のスコアに関係なく受講可能です。

講師：中沢萬佐雄氏
　　ニューヨークとダラスで計 15 年間海外勤務後、英語講師としてビジネスマンや大学生へ TOEIC 講座、英文メール等を教える。TOEIC 985 点、英検１級、通訳案内士。
日時：月曜日 19：00～20：30　全９回×年間４学期
定員：８名
会場：港ユネスコ協会 事務局

ビジネス英会話講座

４月よりアメリカ人講師によるビジネス英会話講座を開講しました。グローバル社会において、ビジネスで通用する「一生モノ」の英語力を養うことを目的とした講座です。

講師：Robert Edward Shiffer 氏
　　ノンネイティブ対象の英語教授法を学び、修士号を取得。現在、インタナショナルスクールで複数の学科を担当している。
日時：木曜日 18：30～20：00　全９回×年間４学期
定員：８名
会場：港ユネスコ協会 事務局

日本語レッスン

少人数の会話を中心とした外国人向けの日本語教室です。

講師：田川純子氏
日時：土曜日 10：00～11：30　全 10 回×年間４学期
定員：12 名
会場：港ユネスコ協会 事務局

（事務局　新福彰二）

事 務 局 便 り

【ようこそ新入会員】

個人会員：太田まりあ様、高沢良子様（以上、英語講座申込者）、河愛子様（Website 申し込み）
外国籍会員：LEE SOONOK 様（Website 申し込み）

【今後の事業予定】

☆6 月 21 日（水）18:30～20:30 第 2 回国際理解講演会「パラオに残る日本語」
会場：港区芝浦 リーブラ学習室 C、講師：今村圭介氏

☆6 月 24 日（土）13:30～16:00「ゆかた着付け体験教室」
会場：港区立生涯学習センター203 号室、講師：高橋優子氏

☆7 月 7 日（金）18:30～20:30 みなと UNESCO サロン「楽しさ倍増の話し方」
会場：港区立生涯学習センター305 号室
講師：山本実之氏（大手食品メーカーグループ会社の現役社長）

☆7 月 30 日（日）12:00～15:30 世界の味文化紹介「西インドの家庭料理」
会場：港区芝浦 リーブラ料理室、講師：ポンキシエ プルワ氏

☆7 月 31 日（月）10:00～11:30 桜田学校課外授業「こども世界遺産クイズ」
港区立生涯学習センター305 号室、主催：ばるーん、協力：港ユネスコ協会
講師：城所信英氏（NPO 法人としまユネスコ協会）

☆8 月 27 日（日）11:00～15:00「オリジナルトートバッグを作ろう！」
会場：東京タワー（株式会社ＴＯＫＹＯ ＴＯＷＥＲ社 協力）
講師：鈴木優夏氏（株式会社オカモトヤ）

☆10 月 7 日（土）13:30～16:00「書道体験教室」
会場：港区立生涯学習センター203 号室、講師：金田翠夢氏

☆10 月 29 日（日）14:00～16:00 第 3 回国際理解講演会「イタリアオペラの風を感じて」
会場：港区芝浦 リーブラホール
講師：渡辺大氏（オペラ・テノール歌手、日本声楽家協会教育センター講師、啓声会運営委員）

☆12 月 3 日（日）17:30～20:30「クリスマスイベント（仮称）」
会場：港区赤坂 赤坂区民センター多目的ホール

☆12 月 10 日（日）13:30～16:00「第七回日本語スピーチコンテスト」
会場：港区芝浦 リーブラホール

☆2 月 4 日（日）12:00～15:00 世界の味文化紹介「ギリシャ料理」
会場：港区芝浦 リーブラ料理室

【ご寄付ありがとうございました。】

★トルコ地震募金：高井光子様 3 万円、奥村和子様 1 万円、田部揆一郎様 1 万円、磯部豊子様 5 千円、兼田徳子様 3 千円
★その他寄付金：田部揆一郎様 20 万 5 千円、株式会社オカモトヤ 会長 鈴木眞一郎様 10 万円、新福彰二様 5 千円

港ユネスコ協会事務局　火曜日～金曜日（祝日を除く）午前 10 時 30 分～午後 5 時
〒105-0004　東京都港区新橋 3-16-3　TEL：03 (3434) 2300　TEL・FAX：03 (3434) 2233
E メール：m-info@minatounesco.jp　　ウェブサイト：https://minato-unesco.jp